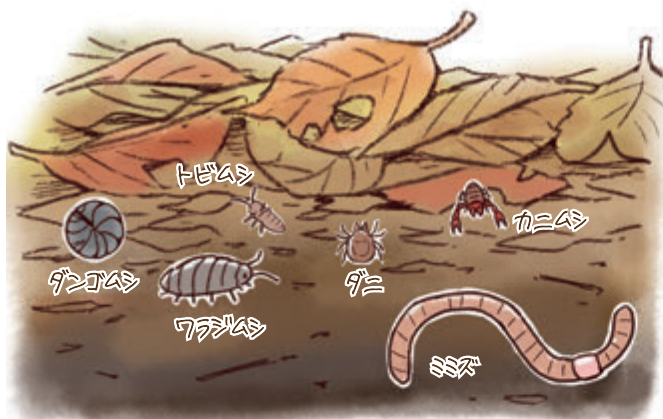


足元に広がる小さな生態系

著者 一日一種
(イラストレーター・漫画家)

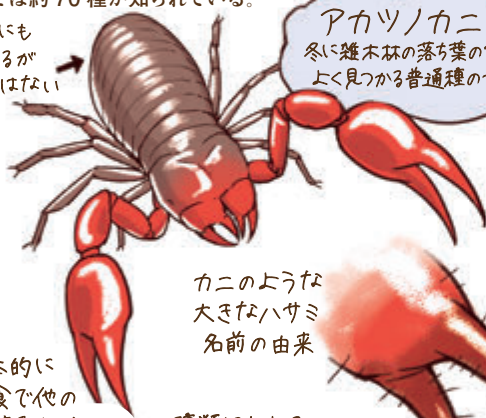
目には見えないが多くの生きものが地中にいる



身近にいるが知名度が低い「カニムシ」とは？

せつそくどうぶつもん クモガタ綱 カニムシ目 の土壌動物。
日本では約 70 種が知られている。

サソリにも
似ているが
しっしとはない



アカツノカニムシ
冬に雑木林の落ち葉の下などで
よく見つかる普通種のカニムシ

カニのような
大きなハサミ
名前の由来

基本的に
肉食で他の
土壌動物を
食べている

種類にもよるが
大きさは数 mm 程度



生えている毛は
センサーの役割

カニムシはどんなところにいる？

落ち葉の下

樹皮のすき間など



スギやアカマツなど

※種類によって、いる場所は異なる

越冬中の生きもの
もいるのでむきみに
起こさないように
モノを動かすのは
最小限にしよう

都市公園などの新しい緑地では見つかりにくいだが、
身近な場所でも昔からある林などでは見つかりやすい

